



梅雨入り後の月曜日は真夏日で、暑い一日でした。園庭での体育や外遊びも20分程度に限定しています。小さい子どもは汗をかくことを厭わず、遊び続けてしまします。ご家庭での外遊びの際も、水分補給や汗をしっかりと拭くことを心掛けて、暑さと上手に付き合っていくようにしてください。

さて、今回は奥田健治先生の『子育てのほんとうの原理原則』をテーマに皆さまに考えてもらおうと書いてみます。この本の帯に「もうムリ、助けて、お手上げ」をプリンシプルで解決、と書いてあります。

家庭に、子育てに関する原理・原則＝プリンシプルをもとう、いつどんな時も、都合や気分にも、世間の風潮にも惑わされず、一貫した態度で子どもに接すること。親に求められるのは、「これだけは我が家の決め事にしよう」というルールを決め、守る態度です。

例えばお菓子は1個だけ、YouTubeは親と一緒に5分だけと決めたら、徹底してそれを守り抜くのです。たかが1個が、子育てがうまくいくか行かないか、の大きな分かれ道だと奥田先生は書いています。

もう1個欲しい、となれば「キーーーーー！」と金切り声を発する、泣き続ける。でも「キーーーーー！」で要求が叶うと、将来、ちょっと気に入らないことがあるとこの声を発し、要求が通らないとキレる子になってしまいます。そういう問題をはらんでいるのです。キレて親を脅しているのです。

「キーーーーー！」はお母さんの「弱み」。「弱み」を持っていると、子育ては不利になってしまいます。「やるならやってもいいけど、必ず損をさせること」という親の新しい姿勢が大切です。

この、例にあげた子どもは「キーーーーー！」と言えば親が言うことを聞くということを学んでいます。この手が通用するのを経験すれば、何度でも同じことを繰り返し、要求はどんどんエスカレートするものです。子どもが社会に出て困らないように「それはいけないこと」と小さいうちから教えておかなければならないことはたくさんあります。

子育ては手がかかることです。今の日本はお母さんも働かなければいけないようになっていますから、手がかかるのに、手がかけられない状況であることは私達にも十分わかっています。でも、手を掛けずに、

放っておいて社会に適應できるいい子に育つなんてことはありません。手がかからない子なんていないのです。

「家庭のルールづくり」をすると、お母さんの子育ては昨日よりも倍以上たいへんになります。YouTubeと一緒に5分だけ見ることも、だめなものはだめ、を徹底することも、根気がいるし、面倒なことでしょう。

でも子どもがルールを守れたら、ちょっとではなく、めちゃくちゃに褒めてあげてください。盛大に喜んであげないといけない。子どもはルールを守るという大変なことをやってのけたのです。それが「とても素晴らしいこと」というのを、子どもに伝えることが必要なのです。

幼稚園は集団生活で、わがままは通用しないところ、と子どもたちもわかっている、6月にもなれば集団生活にも慣れ、振舞い方もわかってきます。ところが家庭に戻ると、王子様とお姫様ばかりのようですね！家庭でわがままを言っているのは片目くらいつぶりですが、家庭と同じように我を通そうとする子が時々います。泣き喚いて要求を通そうとします。でも、主導権は当たり前ですが、先生にあります。幼稚園にもルールがあり、決まりは子どもではなく先生が決め、子どもは守らなければいけないからです。特別はありません。一貫しないと、命にかかわることにもなりますし、子ども達全員に迷惑をかけてしまいます。幼稚園はそういう覚悟を持っていることも、知っておいて欲しいことです。

園長 志田裕美子

## <年少組今月の目標>

健康・汗を拭く  
人間関係・友だちを名前と呼ぶ  
環境・体育遊びの中で簡単なルールを理解し  
順番に行なう  
言葉・「ありがとう」、「ごめんなさい」が言える  
造形・描画、絵手紙  
音楽・「アの字がつくから」「みんなの広場」  
「水遊び」

もっと暑さがあれば、また遊び方も変わったはず…

7月に水遊びを行なうので、その時は思いっきり遊ばますように！

残り数週間で、1学期も終わりですね。  
暑さが増していきますので、体調管理に気をつけながら  
過ごしていきたいです。

安西 美怜

## <担任から今月のメッセージ>

今まで体操服で過ごしていた子どもたちも、6月からはいよいよお着替えが始まりましたね。プカブカの制服姿が可愛らしく、きゅんきゅんしてしまいました。  
女の子たちは夏服のワンピースがお気に入りの子が多く  
「水色だからエルサみたいだね」「このまま着替えなくて  
過ごしたい」と言っている子もいました。

初日は丁寧に皆で確認しながら着替えていきましたが、次の日からは「もう、やっていいの?」「自分でできるよ」と、ホックやボタン止め等、少し難しいところは私たちも手伝うことはありましたが、子どもたちからどんどん進んで着替えていました。  
いつもは甘えん坊が多いめろん組なので、もっと「やってよ～」と言われると思っていたので、1人の力でやろうとする姿勢に感動してしまいました。

ボタンをスナップボタンやマジックテープに付け替えてくださった方もいらっしゃいました。  
ありがとうございました。  
もし、お着替えで苦戦されている方がいたら、ポロシャツのボタンやワンピースの首元だけでも変えて頂くと、子どもたちも「自分でできた!」の自信に繋がると思います。お子さんと話し合い、ご検討をお願いいたします。

先日は砂場遊びを行ないました。普段、裸足になることや汚れることを苦手と感じる子もいたので、当日はどうなるかと少しドキドキしていましたが、「温泉を作ろう」「泥団子を作りたい」とワクワクする子につられてか、泣く子や不安になる子もなく、笑顔で砂場までお引越すことに成功しました。  
太陽が出ていて最高の砂場日和!…と思いましたが、いざ外に行くと風が涼しく、水があるとちょっぴり寒い。でも子どもたちは「川が流れてる」「水溜まりに入っているの?」と水が使えることに大興奮でした。

「裸足でお砂場に行くと気持ちいいね」「さらさらの砂で足を隠そうよ」と水を使わなくても砂の感触を楽しんだり、山を作ってトンネルを掘ったりと、様々な遊び方をしていました。  
「先生、お水を混ぜるとぎゅっと固まった泥団子ができたね」と発見も教えてくれました。

